

年頭のあいさつ

行田市長
工藤 正司

新年明けましておめでとつございます。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

私は、新しい年の門出にあたり、行田市のさらなる発展と8万7千市民の幸せのため、全力で新しい行田市のまちづくりに取り組んでいく決意を新たにいたしましたところでございます。

長引く景気の低迷により、国・地方を通じて厳しい行財政運営を余儀なくされておりませんが、市債（借金）を大幅に削減するなど、お陰をもちまして、行田市政は一つひとつ着実に成果を挙げながら順調に推移しております。

今後とも、市民の皆様の声を市政に反映させながら、「市民が主役」のまちづくりを基本とするソフト重視の施策を展開してまいります。そして、旧南河原村との合併5周年を迎えた今年を、行田市にとって大いなる飛躍の年にいたします。

特に、映画「のぼりの城」がいよいよ公開を迎える予定であり、観光施策をはじめとする諸施策を拡充し、さらなる活力とにぎわいを創出してまいります。さらに、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりに、より一層力を注いでまいります。

また、これまで多くの市民の皆様の参画をいただいて取り組んでまいりました、未来のまちづくりビジョンとなる新しい「行田市総合振興計画」を策定し、力強い行動へとつなげていく所存でございます。

埼玉県名発祥の地である行田市には、古代から受け継ぐ悠久の歴史の中で、逆境や幾多の試練を乗り越えてきた深い知恵と、たゆまぬ努力を積み重ねてきた不屈の力が息づいております。今こそ私たちが行田の英知と力を結集することで、社会の閉塞感を打破し、全国に「元気な行田」を発信できると確信しております。

私は、市民の皆様と「夢・誇り・行動」を共にし、「住んでよし・訪れてよし」の個性豊かで活力に満ちた「行田オンリーワンのまちづくり」に、新たな一歩を力強く踏み出してまいります。どうか市民の皆様には、市政に対する一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新春
特別対談

「のぼりの城」著者と語る 行田の魅力とまちづくり



× 工藤市長

今年秋に公開される映画「のぼりの城」の原作者であり、脚本家でもある和田竜さんをお招きし、工藤市長と対談していただきました。

市長 お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。小説「のぼりの城」は、今や文庫本を合わせた累計発行部数が177万部を超えたそうですね。おめでとうございます。以前お会いしたときよりも、さらに作家としての賞禄かんとくを感じますね。

和田（笑）ありがとうございます。「のぼりの城」はそもそも行田の歴史を扱ったものなので、単行本を出したときから行田を中心とする埼玉から全国に広めていきたいという思いがありました。お力添えをいただいております。